

トヨタ車体、ダカールラリー2019で市販車部門6連覇を目指す

トヨタ車体株式会社（本社：愛知県刈谷市 取締役社長：増井 敬二）のラリーチームであるチームランドクルーザー・トヨタオートボデー（以下、TLC）は、2019年1月6日にペルー・リマをスタートする『ダカールラリー2019 ペルー』の市販車部門に、当社が開発・生産を担うランドクルーザー200シリーズをベースにしたラリー仕様車2台で参戦し、同部門6連覇に挑みます。

当社は『もっといいランドクルーザーづくり』を進めるために、ランドクルーザーを鍛える舞台として世界一過酷とも言われるダカールラリーを選び、1995年の初参戦から20年以上にわたり、市販車部門にこだわり、ラリーに参戦しています。

2019年大会に向け、TLCは2019年の舞台であるペルーの砂丘ステージを中心とするサバイバル要素の高いルートを想定し、2018年春から砂丘走行、整備のトレーニングを強化してきました。トラブルの洗い出しや対策を繰り返すことで、厳しい砂丘環境への耐久性、走行性も向上しました。

チームの1号車には、2017年大会で優勝したドライバーのクリスチャン・ラヴィエルとジャン・ピエール・ギャルサンのコンビ、2号車には、前回大会で初優勝を果たした社員ドライバー三浦 昂とローラン・リントロイスターのコンビを継続します。メカニック陣には、福岡トヨタ自動車の実務で培った整備力のあるメンバーとこれまでTLCとともに戦ってきたフランス人のベテラン陣を中心にチームを支えます。

また、ラリーに使用する燃料は、環境への配慮から2007年より継続しているバイオディーゼル燃料(BDF)を使用します。このBDFの原料は、近隣地域、小・中・高校をはじめ、TLCを支えて頂いている支援企業各社、当社従業員などの協力を得て集めた廃食油を利用しています。

トヨタ車体は、地域や支援企業をはじめ、一人でも多くの方々とダカールラリーへの挑戦を共有することで、ランドクルーザーファン、クルマファンの拡大に繋げるとともに、世界を相手に過酷な舞台で戦うことで、人とクルマを鍛え、もっといいクルマづくりを通して世界中のお客さまの暮らしに笑顔をお届けしてまいります。



参戦車両とチームメンバー

1.チーム名

Team Land Cruiser TOYOTA AUTO BODY (チームランドクルーザー・トヨタオートボデー) ※通称TLC

2.ダカールラリー2019参戦車両

1号車 (ゼッケンNo.350)



2号車 (ゼッケンNo.349)



フロント



リア



サイド

【ランドクルーザー200 ダカールラリー2019仕様車スペック】

項目	スペック内容
ベース車両型式	VDJ200
エンジン型式	1VD-FTV型
総排気量	4,461cc
全長 / 全幅 / 全高	4,950mm / 1,970mm / 1,910mm
最高出力	300ps以上
最大トルク	800N・m以上
ステアリング	ラック & ピニオン式
サスペンション	前/ ダブルウィッシュボーン式独立懸架コイルスプリング (BOS製) 後/ トレーリングリンク車軸式コイルスプリング (中央発條製)
ショックアブソーバー	リザーバタンク付単筒ガス式 (BOS製)
ブレーキ	前後ベンチレーテッドディスク (エンドレス製:ブレーキパッドのみ)
トランスミッション	5速マニュアルトランスミッション
タイヤサイズ	285/70R17 (BF GoodRichi Mud-Terrain)
ホイール	マグネシウム鍛造 17インチ×7.5J (ENKEI製)
駆動方式	4輪駆動 (フルタイム4WD)

(上記スペックは1号車、2号車共通)

3.ダカールラリー2019参戦体制

監督、ドライバー、エンジニアに社員を起用し、“もっといい人づくり”への挑戦に取り組んでいます。

世界を相手に過酷な環境下で悪戦苦闘の日々を送り、異文化に触れ、そして、世界中のお客様がクルマを使う道を知ること、人を鍛えて、お客様の期待を超える“もっといいクルマづくり”につなげます。

【チームメンバープロフィール】

(*1:2018年12月5日時点)

体制	氏名	年齢(*1)	備考	
チーム代表	スギウラ カズナリ 杉浦 一成	 57歳	1960.12.17生 トヨタ車体(株)常務役員 2017年4月よりチーム代表に就任。 「厳しいときこそチャレンジ、勝つために戦い抜く！」 の決意のもと、チームを支える	
チーム監督	カクニ イクシ 角谷 裕司	 45歳	1973.11.5生 トヨタ車体(株)広報室 元ハンドボール全日本代表という異色の 経歴を持つ。2015年よりチームを率い、 冷静な判断力でチームを部門5連覇に導いた	
1号車	ドライバー	クリスチャン・ラヴイェール Christian Lavieille	 52歳	1965.12.16生 TLC契約ドライバー オートバイのプロライダーから四輪車のドライバーに 転向し、数々のクロスカントリーラリーに参戦。 ダカールラリー2017では市販車部門優勝を 果たすが、昨年はマシントラブルによりリタイア
	ナビゲーター	ジャン・ピエール・ガルシ Jean Pierre Garcin	 56歳	1962.12.2生 TLC契約ナビゲーター TLC前身となるチームアラコ時代にナビゲーター として活躍後、総合トップ10争いに加わるチームの ナビゲーターを歴任。旧知の仲であるクリスチャン ドライバーとのコンビで優勝をめざす
2号車	ドライバー	ミウラ アキラ 三浦 昂	 35歳	1983.1.26生 トヨタ車体(株)広報室 社員ナビゲーターとして2007年大会からTLCで ダカールに参戦。2016年大会よりドライバーに 転向し、2018年大会では部門優勝を獲得
	ナビゲーター	ローラン・リヒトリュク Laurent Lichtleucter	 42歳	1976.2.16生 TLC契約ナビゲーター 世界各国のドライバーとのコンビを組んできた 豊富な経験を活かし、社員ドライバー育成 プログラムに大きく貢献
エンジニア	イウイ カミ 伊東 克巳	 49歳	1969.9.15生 トヨタ車体(株)広報室 トヨタ車体(株)設計部にてプリウス、ノア などの外装設計を経験。 ラリー車開発を担当	
チーフメカニック	フィリップ・シャロワ Philippe Challoy	 59歳	1959.10.14生 TLC契約メカニック 1995年のチーム発足以来、メカニック陣を 統括してきた敏腕チーフメカニック。 メカニックの腕はもちろんのこと、 その人柄によりメンバーからの信頼も厚い	
日本人 メカニック	タケイ リョウヘイ 瀧井 亮平	 30歳	1988.3.1生 福岡トヨタ自動車(株) 2018年大会では1号車担当メカニックとして 初参戦を果たし、チームの部門5連覇に貢献。 日本人メカニックリーダーとして、 2度目のダカールに挑戦	
	イワシ タツヤ 岩浅 龍矢	 29歳	1988.12.23生 福岡トヨタ自動車(株) 2018年4月よりチームに参加。 ダカール2019デビューを目標に研修プログラム に取り組み、即戦力としての期待が集まる	

※その他、メカニック・スタッフ含む 計20名体制を予定

4. 参戦カテゴリー

市販車部門ディーゼルクラス(下表太枠部)

	部門	クラス
オート(自動車)	市販車	ディーゼル
		ガソリン
	改造車	
トラック		
2輪(バイク)		

※TLCはガソリンクラスを含めた市販車部門での優勝を目標に参戦します

5. バイオディーゼル燃料(BDF)での参戦

(1) 使用するBDFについて

BDFとは植物性油を原料に作られた軽油の代替燃料であり、TLCは2007年大会からBDFでの参戦に挑戦し、2009年大会からは自ら集めた廃食油から精製したBDFでの参戦に取り組むことで循環型社会の仕組みが広がっていくことを期待しています。

原料となる廃食油は当社近隣地域、小・中・高校をはじめ、TLCのラリー参戦活動に賛同いただいた支援企業各社、当社従業員などから提供を受けています。

また、株式会社デンソー(愛知県刈谷市)が取り組む微細藻類にCO₂を吸収させて生産した藻油も加え、太田油脂株式会社(愛知県岡崎市)の協力により精製されたBDFで走破します。

(2) BDFの環境性能

TLCはダカールラリーの全行程をBDF100%で走破します。これにより総走行距離を軽油で走行する場合に比べ、CO₂排出量を約60%軽減することが可能となります。

(3) TLCのBDFでのダカール参戦暦

開催年	2007(*1)	2008	2009	2010	2011	2012-2018
参戦車両	ランドクルーザー-100		ランドクルーザー-200			
BDF使用台数 (使用台数/出場台数)	1/3台	大会 中止	1/2台	2/2台	2/2台	2/2台
BDF混合比率	20%	-	20%	20%	100%(*2)	100%

*1 2007年大会は市販のBDFを使用

*2 2011年大会は一部区間のみを軽油で走行

【参考資料1:TLCの過去の戦歴】 ・現在は、2014年大会から市販車部門5連覇中

開催年	1995-2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
車両	ランドクルーザー-80(1995-1998) ランドクルーザー-100(1999-2004)	ランドクルーザー-100			ランドクルーザー-200										
成績	市販車ディベロップメント 優勝7回	市販車部門優勝		大会 中止	市販車部門 優勝		市販車部門 2位		市販車部門優勝						
備考	アラコとして参戦	2005大会よりトヨタ車体として参戦													

6連覇

5連覇

【参考資料2:大会概要（ダカールラリー2019 ペルー）】

- ・開催期間：2019年1月6日～1月17日（計12日間、10ステージ）
- ・開催国：ペルー
スタート/リマ ～ 中間休息日/アレキパ ～ ゴール/リマ
- ・総走行距離：約5,000km
（内、競技区間は約3,000kmを予定）

2019年大会はダカールラリー史上初の1カ国開催となり、南米開催初となった2009年大会以来、日程、距離ともに縮小されることになったが、従来全競技区間の20%～30%にとどまっていた砂丘路面が全競技区間の70%におよぶ。アベレージ速度を上げることが難しい砂丘が大半を占めることは走行距離に対し、走行時間が著しく長くなることを意味しており、選手やメカニックのメンタルやフィジカルへの負担はこれまでに大きくなる。2019年大会は前回まで示されてきた走行距離と大会期間では図ることができない新たな過酷な冒険となることが予想される。



以上

